



玉高附中通信 WAKAGOMARU NO.4 1

6/5(水)中学2・3年生「性教育講話」を行いました。講師は、助産師の島津先生です。命の尊さ、命のつながりを考え、自分の存在の大切さを知り、今の自分を考える機会となりました。生徒の皆さんの感想をご紹介します。

ぼくは、今回の性教育講話を通して、今おきている心や体の成長は、決しておかしいことではないことを学びました。これから、心や体が成長していくことを不安に思わずに、安心して「成長しているんだ」と感じたいです。そして、自分を生んでくれたお母さんやお父さん、家族に感謝して、これから生活を送っていきたいと思います。
(2年 和田くん)



私は、もっと自分の命を大切にしたいと思いました。なぜなら、この講話で「宇宙にたった一つだけの命」と「自分に命をつないでくれた人に感謝し、つないでくれた人たちが悲しまないように生きよう」という二つの言葉が心に残ったからです。私が、(300×30000000)分の1の確率で生まれたことが、びっくりでした。だからこそ、私も命をつないでくれた人、自分自身が悲しまないように、自分で物事を決めるといことへの責任の重さを感じて、世界に一つしかない自分の命を大切に、これからの出来事に後悔のないように楽しんでいこうと思いました。(2年 平田さん)

ぼくは、この講演で、相手を大切にすることが大事だと思いました。プレゼンテーションを見たり、実際に赤ちゃんの人形を抱いたりして、女子と男子の体の違いがよく分かりました。人を好きになると言うことは、その人を大事にするということでもあり、相手のことを傷つけたりしないようにしなければならないと、改めて分かりました。もし、ぼくが誰かとつきあったりするようになったら、その人を傷つけないように心がけたいと思いました。
(2年 今井くん)

私は、今回の講演を聴いて、自分自身がものすごい確率で生まれてきたことを改めて感じ、自分のことをもっと大事にしていけないと思いました。それと同時に、友達や周りの人に対しても同じようにしていくべきだと思いました。また、誰かを好きになった場合、「相手の気持ちを大切にすることが大事」と学んだので、そういうことにも気をつけていきたいです。私自身の気持ちと相手のきもちを考えた行動をとれるように、これからも心がけていきたいです。(2年 坂本さん)



2年生、3年生ともに、大切なお話を聞くことができました。感謝の気持ちと自他ともに大切にすることを学びました。

さて、中学校の芸術鑑賞「沖縄燦燦」は、6/13(木)ですが、3年生は、6/4(火)に事前ワークショップを経験しました。写真は、沖縄燦燦のスタッフの皆様です。当日、3年生の出演も予定されています。 2019. 6. 11 副校長 山部

「玉高附中通信WAKAGOMARU」は、玉名高校・玉名高校附属中学校ホームページに掲載しています。

URL : <http://sh.higo.ed.jp/tamana/>